

高額賠償判決例

事故の概要	賠償額
男子高校生が昼間、自転車横断帯のかなり手前の歩道から車道を斜めに横断し、対向車線を自転車で直進してきた男性会社員(24歳)と衝突。男性会社員に重大な障害(言語機能の喪失等)が残った。	9,266万円 (東京地方裁判所 2008年6月5日判決)
男性が夕方、ペットボトルを片手に下り坂をスピードを落とさずに交差点に進入。横断歩道を横断中の女性(38歳)と衝突。女性は脳挫傷等で3日後に死亡した。	6,779万円 (東京地方裁判所 2003年9月30日判決)
男性が昼間、信号表示を無視して高速度で交差点に進入。青信号で横断歩道を横断中の女性(55歳)と衝突。女性は頭蓋内損傷等で11日後に死亡した。	5,438万円 (東京地方裁判所 2007年4月11日判決)

※賠償額とは、判決文で加害者が支払いを命じられた金額である(上記金額は概算額) ※出典：一般社団法人日本損害保険協会